

錯視を科学する

錯覚と脳の不思議な関係

2010年5月19日(水) 18:00-19:30

東京大学駒場キャンパス 18号館 4階オープンスペース

事前登録制・入場無料

参加をご希望される方は cafe@utcp.c.u-tokyo.ac.jp にご連絡ください

ゲスト

竹村浩昌

東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻生命環境学科学系
認知行動科学大講座村上郁也研究室 博士2年

日本学術振興会特別研究員(DC1)

関連文献: Takemura & Murakami (2010). *Journal of Vision*



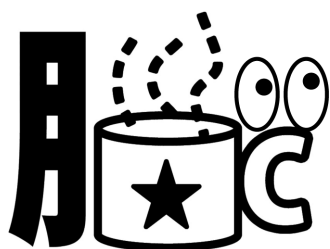
ファシリテーター

西堤優

東京大学大学院総合文化研究科 科学史・科学哲学研究室 博士課程

日本学術振興会 特別研究員(DC2)

今まさに自分が目を開いて見ている世界について、疑問を抱いたことがありますか? 一般的に「百聞は一見にしかず」といわれるように、私たちは自分の視覚情報に多大な信頼を寄せる傾向があります。しかし、今回のゲストの竹村さんは、その「見え」を理解することがいかに難しく面白いのかを、心理物理学と脳科学の観点からお話して下さいます。「見え」の科学を一緒に体験し、議論してみませんか?



今日、「脳」に対する社会の関心はますます増えています。一方、脳科学は発展途上にあり、複雑な脳の働きはまだまだ解明段階です。私たちは脳をどこまで理解することができるのでしょうか。また、脳科学に何を期待することができるのでしょうか。このたび、脳に関心を持つ人々が集い、自由に語り合うことのできる場を目指し、「脳カフェ」を開催いたします。定期的開催し、尽きない話題を語り続けていく予定です。ぜひお気軽にご参加ください。

主催
東京大学グローバル COE「共生のための国際哲学教育研究センター」
中期教育プログラム「科学技術と社会」
東京大学科学史・科学哲学研究室

こまば脳Café

連絡先
東京大学こまば脳カフェ実行委員会
cafe@utcp.c.u-tokyo.ac.jp